Society of Human Well-Being 2024

第24回 人間福祉学会

多様性を力に変える未来志向の福祉

ー誰もが参加できる社会へー

［表紙デザイン］有賀宣美さん『いのちのワルツ』

2024年
12月15日 日

中部学院大学 各務原キャンパス
岐阜県各務原市那加甥田町 30-1　TEL 058-375-3600

参加費無料　申込不要　対面形式

［大会長］金 美辰（大妻女子大学 教授）
［主　催］人間福祉学会　［共　催］中部学院大学・中部学院大学短期大学部

後援：岐阜大学・岐阜県・岐阜県教育委員会・関市・関市教育委員会・各務原市・各務原市教育委員会・社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会・社会福祉法人岐阜市社会福祉協議会・社会福祉法人関市社会福祉協議会・社会福祉法人各務原市社会福祉協議会・一般社団法人岐阜県社会福祉士会・公益社団法人岐阜県理学療法士会・一般社団法人岐阜県作業療法士会・一般社団法人岐阜県介護福祉士会・公益社団法人岐阜県看護協会・一般社団法人岐阜県障害者スポーツ協会（予定・順不同）

第24回 Society of Human Well-Being 2024
人間福祉学会

多様性を力に変える未来志向の福祉
ー 誰もが参加できる社会へー

本大会のテーマ「多様性を力に変える未来志向の福祉 ー誰もが参加できる社会へー」は、急速なグローバル化やデジタル化に対応し、多様性を尊重する社会の実現を目指すことを目的としています。本大会では、多文化共生、AIやICTなどのデジタル技術の活用、福祉の現場における実践と研究から、誰もが参加できるインクルーシブ社会を構築するための知見を深めます。

基調講演では、「多文化共生社会の実現に向けた社会政策の課題と展望」をテーマに、具体的な社会政策の取り組みや展望について紹介し、多文化共生社会の実現に向けた方向性を示します。

シンポジウムでは、多文化共生に取り組む社会福祉法人、福祉分野におけるICTの推進に関する研究所、日本の高齢者施設で管理職を勤める外国籍職員の3者が登壇します。「未来志向の福祉サービス：多文化共生とICTの融合」をテーマに、各々の視点から多文化共生の実践事例やICT導入の現状と課題を紹介し、福祉分野における多様性の力を活かすための具体的な方策について討論します。

本大会を通じて、参加者の皆様が多様性を尊重し活用する福祉の新たな可能性を探求し、実践に役立つ具体的な知見を持ち帰られることを祈念しております。

［プログラム］

2024年
12月15日 日

9:30 - 11:30 研究・実践発表

12:20 - 12:45 総　会

13:00 開　会

13:05 - 14:05 基調講演

武川 正吾 氏
多文化共生社会の実現に向けた社会政策の課題と展望

14:30 - 16:00 シンポジウム

テーマ
未来志向の福祉サービス：多文化共生とICTの融合

シンポジスト
足立 圭司 氏
（株式会社NTTデータ経営研究所ライフ・バリュー・クリエイションユニットアソシエイトパートナー）

三浦 知人 氏
（社会福祉法人青丘社　理事長）

［変更］
山本 八寸代 氏
（株式会社SPIN　取締役）

司会兼コーディネーター
古川 和稔 氏
（東洋大学 教授）

16:05 - 次期大会長挨拶

16:20 - 閉　会

［基調講演 講師］

東京大学 名誉教授
武川 正吾 氏

経歴：1955年東京都生まれ。東京大学名誉教授。専門は社会学、福祉社会学、社会政策。
主な著書：『福祉社会学の想像力』（弘文堂、2012）、『政策志向の社会学――福祉国家と市民社会』（有斐閣、2012年）ほか多数。
その他：近年は、福祉意識の構造と変容およびその国際比較研究などに取り組んでいる。

［お問い合わせ・お申し込み］

人間福祉学会事務局（中部学院大学 教育研究支援課内）
〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘2-1
［FAX］0575-29-3000
［TEL］0575-24-2238 ［E-mail］hwsoffice@chubu-gu.ac.jp